

## 授業計画（シラバス）

学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区別	講義	科目	建築計画Ⅰ/Ⅱ	総時間	前期	2.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	日常生活と建築との関わりについて考えさせるとともに、建築計画を進めるための基本事項を理解させ、過去の作品例を分析しつつ、未来に対応できる建築家としての能力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築計画について空間の形態					1	ホテル・旅館			
2	"					2	"			
3	"					3	病院・診療所・老人保健施設			
4	人間の知覚と行動					4	"			
5	"					5	学校・幼稚園・保育所			
6	寸法と規模の計画					6	"			
7	"					7	"			
8	"					8	事務所・庁舎			
9	空間の性能					9	"			
10	"					10	"			
11	計画の技法・外部空間の構成と配置計画					11	劇場・コミュニティセンター			
12	"					12	"			
13	"					13	商店・百貨店・ショッピングセンター			
14	計画各論住宅（独立住宅・集合住宅）					14	"			
15	"					15	図書館・博物館・美術館			
16	"					16	"			
17	"					17	まとめ			
18	まとめ									
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区分	講義	科目	環境工学	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	快適な環境をつくり出すために必要な空気、熱、光、音等の環境要素について基礎的知識学習する。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	気候 1									
2	気候 2									
3	伝熱と結露 1									
4	伝熱と結露 2									
5	伝熱と結露 3									
6	換気と通風 1									
7	換気と通風 2									
8	日照と日射 1									
9	演習問題									
10	日照と日射 2									
11	採光									
12	照明									
13	色彩									
14	音環境 1									
15	音環境 2									
16	都市環境 1									
17	都市環境 2									
18	まとめ									
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区分	講義	科目	建築設備	総時間	前期		
									後期	2.0×17	
指導目標	急速に高度化、多様化、複雑化する建築設備の知識・技術を法規を踏まえて理解させ、建築計画に応用させる能力を養う。										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
						1	空気調和設備（建築設備の概論・空気調和設備の概論）				
						2	"（空調負荷の算定・計算）				
						3	"（熱源方式）				
						4	"（換気設備）				
						5	"（空調設備の施工・維持保全）				
						6	演習問題				
						7	給排水衛生設備（給水方式）				
						8	"				
						9	"（排水・通気設備）				
						10	"（排水・通気設備・排水処理設備）				
						11	"（消火設備）				
						12	"（消火設備）				
						13	演習問題				
						14	電気設備（電力設備・照明設備）				
						15	"				
						16	"（自動火災報知設備・誘導灯・非常照明）				
						17	まとめ				
備考											

学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区分	講義	科目	建築史	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	日本建築及び西洋建築の発展過程を理解させ、建築技術者に必要な建築的知識を身に付けさせる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築様式について									
2	西洋 古代の建築									
3	"									
4	西洋 中世の建築									
5	"									
6	"									
7	西洋 近世の建築									
8	"									
9	"									
10	20世紀の建築（近代）									
11	"									
12	"									
13	20世紀の建築（現代）									
14	日本 古代の建築									
15	日本 中世の建築									
16	日本 近世の建築									
17	"									
18	まとめ									
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区分	講義	科目	建築法規Ⅰ/Ⅱ	総時間	前期	2.0×18	
									後期	2.0×17	
指導目標	建築基準法及び関係法令を理解させるとともに、演習を通じて運用能力を養う。										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	建築法規の概要					1	建築基準法（一般構造3）				
2	建築基準法（用語の定義1）					2	"（一般構造4）				
3	"（用語の定義2）					3	"（防火規定関係の用語1）				
4	"（面積の算定）					4	"（防火規定関係の用語2）				
5	"（高さ・階数の算定）					5	"（避難施設1）				
6	"（集団規定の概要）					6	"（避難施設2）				
7	"（用途地域と用途制限）					7	"（避難施設3）				
8	"（道路と敷地）					8	"（避難施設4）				
9	"（容積率）					9	"（内装制限）				
10	"（建ぺい率）					10	"（耐火建築物・準耐火建築物）				
11	"（高さ制限の概要）					11	"（防火区画1）				
12	"（道路斜線）					12	"（防火区画2）				
13	"（隣地斜線・北側斜線）					13	"（構造関係規定）				
14	"（日影規制・天空率）					14	"（制度規定）				
15	"（単体規定の概要）					15	"（工事現場の安全ほか）				
16	"（一般構造1）					16	関係法令（建築士法）				
17	"（一般構造2）					17	"（都市計画法・消防法ほか）				
18	まとめ										
備考											

学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区分	講義	科目	構造力学Ⅰ/Ⅱ	総時間	前期	2.0×18
									後期	2.0×17
指導目標	静定力学の基本である反力及び応力を確実に理解できるようにする。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	関数電卓の使い方					1	反力のまとめ			
2	力の基本（モーメント・合成と分解）					2	応力（単純梁の反力）			
3	"					3	"			
4	"					4	"			
5	"					5	"			
6	力のつりあい					6	応力（片持梁の反力）			
7	"					7	"			
8	"					8	"			
9	建造物の安定・不安定・静定・不静定					9	応力（静定ラーメンの応力）			
10	反力（単純梁の反力）					10	"			
11	"					11	"			
12	反力（片持梁の反力）					12	"			
13	"					13	応力（静定トラスの応力）			
14	反力（静定ラーメンの反力）					14	"			
15	"					15	"			
16	"					16	"			
17	演習問題					17	まとめ			
18	まとめ									
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	2	区分	講義	科目	構造力学Ⅲ	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	構造力学Ⅰ／Ⅱで学んだ静定構造力学の知識を基本に不静定構造物の解き方を理解させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	力の釣り合い～静定構造力学のまとめ									
2	安定と不安定-静定と不静定									
3	"									
4	断面の諸係数									
5	"									
6	応力度とひずみ度									
7	"									
8	各種応力度									
9	"									
10	断面の核・座屈									
11	骨組みに生じる力と部材の変形									
12	"									
13	たわみ角法									
14	"									
15	"									
16	固定モーメント法									
17	"									
18	終局強度									
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	2	区分	講義	科目	構造設計	総時間	前期		
									後期	2.0×17	
指導目標	構造力学と構造計画の関連を理解させ、建築計画やデザインにどのように反映されているかを習得させる。										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
						1	構造計画と建築				
						2	"				
						3	構造計画の重要性				
						4	"				
						5	構造種別と特色				
						6	"				
						7	床の計画				
						8	"				
						9	"				
						10	屋根の計画				
						11	"				
						12	"				
						13	"				
						14	柱・梁の計画				
						15	"				
						16	"				
						17	まとめ				
備考											



学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区分	講義	科目	建築構造 I / II	総時間		
								前期	2.0×18	
								後期	2.0×17	
指導目標	各種構造の概要を理解させ、設計等の実践に対する応用力を養う。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	総説・建築構法の変遷・建築構造の分類					1	RC造	RC造の特徴		
2	木構造の概要木構造を構成する各部材・木材の性質					2	主体各部の構造			
3	軸組・土台・柱					3	"			
4	桁・胴差					4	"			
5	筋違・火打・貫・間柱					5	基礎構造			
6	地付床（1階床組）					6	"			
7	上階床（1階床組）					7	"			
8	上階床（2階床組）					8	RCの材料			
9	小屋組					9	"			
10	"					10	柱・梁の配筋			
11	基礎・軸組・床組／断面算定					11	"			
12	小テスト 小屋組の考え方・寄棟屋根のかけ方					12	壁式構造の特徴			
13	小テスト ビデオ「家はこうしてできる」					13	耐力壁の壁厚及び壁量			
14	天井・壁・床					14	S造	S造の特徴・構造概要		
15	"					15	主体各部の構造			
16	床の間回り・床脇・書院					16	接合方法			
17	建具・階段					17	まとめ			
18	まとめ									
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区分	講義	科目	建築材料	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築物の設計、構造計画、施工のために必要な建築材料の基本的な性質等について理解させるとともに、設計製図、一般構造等の関連性を重視し、より適正な材料の使用方法を習得させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	概 要									
2	木 材									
3	"									
4	"									
5	"									
6	コンクリート									
7	"									
8	"									
9	"									
10	コンクリート材料実験									
11	金属材料									
12	"									
13	"									
14	石材									
15	"									
16	ガラス									
17	"									
18	まとめ									
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区分	講義	科目	建築施工Ⅰ/Ⅱ	総時間	前期	2.0×18	
									後期	2.0×17	
指導目標	建築の基礎的な施工方法、及び工事現場の業務・態度・習慣を習得させるとともに、施工の重要性について認識させる。										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	イラストによる建築工程					1	鉄骨工事				
2	施工概要・施工業務					2	"				
3	"					3	"				
4	仮設工事					4	コンクリートブロック工事				
5	"					5	ALCパネル工事				
6	土工事					6	防水工事				
7	"					7	"				
8	地業工事・地盤改良工事					8	左官工事				
9	"					9	"				
10	コンクリート工事					10	タイル張り工事				
11	"					11	"				
12	"					12	石張り工事				
13	型枠工事					13	"				
14	"					14	建具工事				
15	"					15	ガラス工事				
16	鉄筋工事					16	断熱工事				
17	"					17	塗装工事				
18	まとめ										
備考											

学科	建築学科（夜間部）	学年	2	区分	講義	科目	建築積算	総時間	前期	
									後期	2.0×17
指導目標	建築における建築積算の重要性を認識させると共に、実務に即応できる積算技術と積算価格の構成技術を習得させる。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	積算の概要			
						2	工事費・単価			
						3	数量積算			
						4	"			
						5	土量の数量積算			
						6	"			
						7	コンクリートの数量積算			
						8	"			
						9	型枠の数量積算			
						10	"			
						11	鉄筋の数量積算			
						12	"			
						13	仕上げの数量積算			
						14	"			
						15	"			
						16	練習問題			
						17	まとめ			
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	2	区分	講義	科目	住宅計画 （リフォーム）	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	実践に役立つリフォームの現地調査からプランニング、見積もり方法を身につける。特に設備機器の見方なども覚える。									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	住宅設計（概論）									
2	浴室の計画									
3	"									
4	"									
5	トイレ・洗面の計画									
6	"									
7	"									
8	キッチンの計画									
9	"									
10	マンションリフォーム（1）水回り計画（キッチン）									
11	マンションリフォーム（2）水回り計画（浴室・トイレ）									
12	マンションリフォーム（3）居室の計画									
13	木造住宅改修計画（1）概要									
14	木造住宅改修計画（2）水回り計画（キッチン）									
15	木造住宅改修計画（3）水回り計画（浴室・トイレ）									
16	木造住宅改修計画（4）居室の計画									
17	木造住宅改修計画（6）外構計画									
18	まとめ									
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	2	区分	講義	科目	建築総論Ⅰ（計画）	総時間	前期	2.0×18	
									後期	4.0×17	
指導目標	<p>「計画」の過去の出題を分野別に見ると、環境工学7問、計画各論9問、設備7問、意匠建築史2問程度と、例年同じような傾向にある。その内容についても類似しているものが多く、過去問題を数多くこなすことが計画攻略の第一歩である。選択肢一つ一つを吟味し、誤っている記述はどう表現を変えれば適当な表現になるか検討し、より理解を深めさせる。学科Ⅲの範囲における建築材料に関する分野も計画との関連を意識して、より理解が深まるように、学習させる。</p> <p>また、過去の出題傾向を徹底的に分析した、精度の高い確認テストを行ない、知識の定着度を確認し、弱点の克服の参考とする。</p>										
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	学科Ⅰの試験について					1	建築材料				
2	環境工学					2	建築材料				
3	環境工学					3	学科対策				
4	環境工学					4	学科対策				
5	環境工学					5	学科対策				
6	建築設備					6	学科対策				
7	建築設備					7	学科対策				
8	建築設備					8	学科対策				
9	建築設備					9	学科対策				
10	建築史					10	学科対策				
11	建築史					11	学科対策				
12	建築史					12	学科対策				
13	計画各論					13	学科対策				
14	計画各論					14	学科対策				
15	計画各論					15	学科対策				
16	計画各論					16	学科対策				
17	総合・まとめ					17	学科対策				
18	総合・まとめ										
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。										

学科	建築学科（夜間部）	学年	2	区分	講義	科目	建築総論Ⅱ（法規）	総時間	前期	2.0×18
									後期	4.0×17
指導目標	<p>「法規」では、25問中、建築基準法関係が約22問、残りの3問は、建築士法や関連法規から出題されている。法規の試験の解答は全て法令集の中にあるので、法令集を必ず開いて、参考書、問題集をチェックさせる。この選択肢は何条の何項に該当しているので○、この選択肢はXというように条文に照らしながら講義を行なう。また、法令集に添付されているインデックスの活用方法も講義する。また、過去の出題傾向を徹底的に分析した、精度の高い確認テストを行ない、知識の定着度を確認し、弱点の克服の参考とする。</p>									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	2級建築士試験・学科Ⅱの試験について					1	関連法規			
2	建築基準法					2	関連法規			
3	建築基準法					3	関連法規			
4	建築基準法					4	まとめ			
5	建築基準法					5	学科Ⅱ対策			
6	建築基準法					6	学科Ⅱ対策			
7	建築基準法					7	学科Ⅱ対策			
8	建築基準法					8	学科Ⅱ対策			
9	建築基準法					9	学科Ⅱ対策			
10	建築基準法					10	学科Ⅱ対策			
11	建築基準法					11	学科Ⅱ対策			
12	建築基準法					12	学科Ⅱ対策			
13	建築基準法					13	学科Ⅱ対策			
14	建築基準法					14	学科Ⅱ対策			
15	建築基準法					15	学科Ⅱ対策			
16	建築基準法					16	学科Ⅱ対策			
17	建築基準法					17	学科Ⅱ対策			
18	建築基準法									
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	建築学科 (夜間部)	学年	2	区分	講義	科目	建築総論Ⅲ(構造)	総時間	前期	2.0×18
									後期	4.0×17
指導目標	<p>建築構造は過去問題の類似問題が多いので繰り返し過去問題を行なう。  ただし記憶に頼るのではなく解答への筋道を理解する。  計算問題は難解な問題は少ないので実際に計算を行ない数値を算出する。  終盤は問題演習により苦手分野に重点を置く。</p>									
評価方法	<p>定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。</p>									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	学科Ⅲ(構造)の問題傾向と取り組み方					1	一般構造			
2	構造力学					2	一般構造			
3	構造力学					3	一般構造			
4	構造力学					4	一般構造			
5	構造力学					5	一般構造			
6	構造力学					6	学科対策			
7	構造力学					7	学科対策			
8	構造力学					8	学科対策			
9	構造力学					9	学科対策			
10	構造力学					10	学科対策			
11	一般構造					11	学科対策			
12	一般構造					12	学科対策			
13	一般構造					13	学科対策			
14	一般構造					14	学科対策			
15	一般構造					15	学科対策			
16	一般構造					16	学科対策			
17	一般構造					17	学科対策			
18	一般構造									
備考										



学科	建築学科（夜間部）	学年	2	区分	講義	科目	建築総論Ⅳ(施工)	総時間	前期	2.0×18
									後期	4.0×17
指導目標	<p>「施工」は鉄筋工事やコンクリート工事などの各種工事は、もちろん、積算、測量、契約についても出題されている。各種工事では、建築工事標準仕様書・建築工事共通仕様書を根拠にした問題が多くある。注意したいのは、試験に用いられるこれら仕様書の用語と、日ごろ現場で使っている言葉が異なる点である。現場では商品名や一般的呼び名などが使われており、試験用語とのすり合わせが大切である。積算は建築数量積算基準、契約は民間連合協会の工事請負契約約款に基づいた問題が出されている。これらの出版物にも目を通しながら講義する。 また、過去の出題傾向を徹底的に分析した、精度の高い確認テストを行ない、知識の定着度を確認し、弱点の克服の参考とする。</p>									
評価方法	定期試験・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	学科Ⅳの試験について					1	施工機械・積算・測量・工事契約・仕様書			
2	施工計画／工事管理・工事監理					2	施工機械・積算・測量・工事契約・仕様書			
3	施工計画／工事管理・工事監理					3	総合・まとめ			
4	施工計画／工事管理・工事監理					4	学科対策			
5	施工計画／工事管理・工事監理					5	学科対策			
6	各部工事					6	学科対策			
7	各部工事					7	学科対策			
8	各部工事					8	学科対策			
9	各部工事					9	学科対策			
10	各部工事					10	学科対策			
11	各部工事					11	学科対策			
12	各部工事					12	学科対策			
13	各部工事					13	学科対策			
14	各部工事					14	学科対策			
15	各部工事					15	学科対策			
16	各部工事					16	学科対策			
17	各部工事					17	学科対策			
18	各部工事									
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区分	演習	科目	建築設計製図Ⅰ	総時間	前期	8.0×18
									後期	
指導目標	他科目との関連に留意し、設計技術の総合性に立脚した計画技法を習得させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	ガイダンス、数字・文字の練習									
2	線・表示記号の練習									
3	木造2階建て住宅写図（1階平面図）									
4	"									
5	"（2階平面図）									
6	"（断面図）									
7	"									
8	"（立面図）									
9	"（基礎伏図・1階床伏図）									
10	"（2階床伏図・小屋伏図）									
11	"（開口部部分詳細図）									
12	"（配置図）									
13	"（軸組図）									
14	"（矩計図）									
15	"									
16	"									
17	総合提出									
18	講評会									
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区分	演習	科目	建築設計製図Ⅱ	総時間	前期	
									後期	8.0×17
指導目標	他科目との関連に留意し、設計技術の総合性に立脚した計画技法を習得させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	R C造事務所写真図（平面図）			
						2	"			
						3	"（断面図）			
						4	"（立面図）			
						5	"（開口部部分詳細図）			
						6	"（矩計図）			
						7	"（R C造事務所写真図総合提出）			
						8	木造2階建て住宅自主設計			
						9	"（平面図）			
						10	"			
						11	"（断面図）			
						12	"			
						13	"（立面図）			
						14	"			
						15	"（矩計図）			
						16	設計概要・主旨・仕上げ表			
						17	総合提出・講評会			
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	2	区分	演習	科目	建築設計製図Ⅲ	総時間	前期	8.0×18
									後期	
指導目標	R C造の基本的な計画方法と設計技術を習得させるとともに、製図の技能・計画・設計の考え方、建築の実務的技術内容との関わりについて理解させる。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	R C造地域図書館（設計課題の説明）									
2	"（エスキース）									
3	"									
4	"									
5	"（配置図・平面図）									
6	"									
7	"									
8	"（立面図・断面図）									
9	"									
10	"									
11	"（矩計図）									
12	"									
13	"									
14	"（設計主旨・概要・仕上げ表）									
15	プレゼンテーション（模型・CG他）									
16	"									
17	総合提出									
18	講評会									
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									

学科	建築学科（夜間）	学年	2	区分	演習	科目	測量実習	総時間	前期	2.0×18
									後期	
指導目標	建築現場で必要とする、レベル・トランシット・平板測量における測量機器が扱えるように指導する。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	建築測量 ガイダンス									
2	建築測量 略測量（1）									
3	建築測量 略測量（2）									
4	建築測量 レベル測量（1）									
5	建築測量 レベル測量（2）									
6	建築測量 レベル測量（3）									
7	建築測量 レベル測量（4）									
8	建築測量 トランシット測量（1）									
9	建築測量 トランシット測量（2）									
10	建築測量 トランシット測量（3）									
11	建築測量 トランシット測量（4）									
12	建築測量 トランシット測量（5）									
13	建築測量 平板測量（1）									
14	建築測量 平板測量（2）									
15	建築測量 平板測量（3）									
16	建築測量 縄張り実習									
17	建築測量 墨出し実習（1）									
18	まとめ									
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区分	演習	科目	建築CAD演習 I	総時間	前期		
									後期	4.0×17	
指導目標	現在の建築技術者にとってITスキルは不可欠であるため、その一つとしてCADによる図面作成技術を、業界で最も使用されているソフトを用いて習得させる。										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
						1	JW_CADインストール&基本操作				
						2	基本操作 ※一日のまとめ「図形作図①」				
						3	〃 ※一日のまとめ「図形作図②」				
						4	マンション平面図作図				
						5	〃				
						6	出力&チェックバック ※線幅等確認				
						7	簡単な図面トレース				
						8	マンション敷地図、日影図、天空図				
						9	マンション立面図作図				
						10	出力&チェックバック ※線幅等確認				
						11	マンション2.5D作図				
						12	〃				
						13	給排水衛生設備作図				
						14	〃				
						15	CADでのプレゼンテーションの仕方&まとめ				
						16	〃				
						17	総復習				
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。										

学科	建築学科 (夜間部)	学年	2	区分	演習	科目	建築CAD演習Ⅱ	総時間	前期	4.0×18
									後期	
指導目標	<p>現在の建築技術者にとってITスキルは不可欠であるため、その一つとしてCADによる図面作成を、業界で最も使用されているソフトを用いて実務者レベルまで習得させる。          なお、指導に当たっては、単に図面を作成するだけでなく、正確性を求め、建築技術者としての総合的な能力向上に留意する。</p>									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
1	AutoCAD(学生版)のインストール・動作確認									
2	基本操作									
3	"									
4	"									
5	テンプレート作成									
6	平面図入力									
7	"									
8	立面図作成入力									
9	"									
10	展開図作成入力									
11	"									
12	建具表作成									
13	カスタマイズ									
14	"									
15	"									
16	JW_CAD ⇔ AutoCADデータの受け渡し									
17	"									
18	まとめ									
備考										

学科	建築学科（夜間部）	学年	1	区分	演習	科目	レンダリング・ベーシック演習	総時間	前期	2.0×18	
									後期		
指導目標	基本的な透視図法を理解させるとともに、鉛筆や色鉛筆を使った着彩による表現方法のほか、建築模型の製作方法を習得させる										
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。										
指 導 内 容											
回数	前 期					回数	後 期				
1	アイソメトリック図法の基本・透視図の基本										
2	"										
3	"										
4	平行足線透視図法の基本										
5	"										
6	"										
7	有角足線透視図法の基本										
8	"										
9	"										
10	建築模型の作り方										
11	"										
12	"										
13	建築模型の作り方（部材の切出し）										
14	"										
15	"（組立）										
16	"										
17	提出										
18	講評会										
備考											



学科	建築学科（夜間部）	学年	2	区分	演習	科目	建築製図演習	総時間	前期	
									後期	4.0×17
指導目標	二級建築士製図試験の過去課題をもとに、最低限の製図能力・計画能力を養う。また、段階的に作図スピードの向上を目指す。									
評価方法	課題提出状況・出席率・学習態度により総合的に評価する。									
指 導 内 容										
回数	前 期					回数	後 期			
						1	二級建築士試験概要説明			
						2	平面図の描き方			
						3	立面図の描き方			
						4	断面図の描き方			
						5	床伏図の描き方			
						6	床伏図の描き方			
						7	矩形図の描き方			
						8	矩形図の描き方			
						9	エスキースの手法1			
						10	エスキースの手法2			
						11	問題1（エスキース・平面図・立面図）			
						12	問題1（床伏図・矩形図）			
						13	問題2（エスキース・平面図・立面図）			
						14	問題2（床伏せ図・かなばかり図）			
						15	問題3（エスキース・平面図・立面図）			
						16	問題3（床伏図・矩形図）			
						17	模擬試験			
備考	※この科目は建築業界での実務や、一級建築士事務所を有する教員等が、実務経験から生じた知識や実績を網羅した授業を行う。									